

平成 2 6 年

第 4 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成26年第4回仙北市議会臨時会を招集したところ、議員の皆様にはご出席を賜り誠にありがとうございます。

はじめに、角館高等学校の甲子園出場についてです。

第96回全国高等学校野球選手権秋田大会を征し、角館高校が初の甲子園出場を決めました。昨年夏の大会、そして今春の選抜大会の無念をエネルギーに、また新生・角館高校が誕生した記念すべき年に、初出場という念願を勝ち取ってくれました。選手はもちろん、角館高校生、父兄の皆様、本当にありがとうございました。OB・OGの皆様、市民の皆様、そしてご支援をいただいた全ての皆様、応援をありがとうございました。

仙北市として、この角館高校を最大応援したい思いから、本臨時会で所用の経費を補正予算に計上しています。どうかご審議をよろしくお願いします。

次に、「秋田スギバイオエネルギーセンター」の火災についてです。

7月3日の午後4時13分ごろ、西木町門屋の同センター建物内部で火災が発生し、鉄筋コンクリート2階建て約527㎡のうち、約180㎡を焼失しました。建物内に危険物があったことから、にしき園入居者92人をはじめ、クリオンの宿泊客、周辺住民の皆様には一時避難をお願いしました。本当に大変なご迷惑をおかけしました。また市民の皆様をはじめ、消防団、広域消防の皆様には消火活動はもとより、にしき園入居者の移動介助もご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

市民の皆様には、改めて深くお詫びを申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。

出火後、にしき園とクリオンが一時停電しましたが、午後8時前には復旧し、避難勧告も解除しました。にしき園入居者の皆様が全員無事に戻ることは何よりだったと思います。

火災の原因は、チップ乾燥機付近の低温発火ではないかと推測さ

れています。本事案の発生後、速やかに県担当部署へ火災発生状況等を報告しています。また7月17日には、月島機械（株）による被害状況の確認作業を行い、被害額について現在精査中ですが、8月7日には提出をされる予定と聞いています。7月25日には火災保険の関係から、県町村会と同会から依頼された鑑定人が現場を確認しています。

5月22日に開催した市議会全員協議会では、バイオエネルギーセンターの事業存続について、水蒸気実験の結果も勘案し判断するとしていましたが、火災発生という不測の事態が生じたことから、被害額及び保険の額が判明次第、国・県等の関係機関や月島機械（株）と今後の対応について協議することにしていきます。その結果を踏まえ、改めて議会の皆様に報告する機会を設けていただき、協議したいと考えています。

次に、前回定例会後の主なる事項等をご報告します。

◇秋田内陸線について

秋田内陸縦貫鉄道株式会社の酒井一郎社長の辞任に伴う後任人事ですが、6月30日に行われた定時株主総会、及び取締役会において、株式会社JTB東北法人営業秋田支店営業担当部長の佐々木琢郎氏（59才）を新代表取締役社長に選任しました。

秋田内陸線は、平成24年度・25年度ともに経常損失額を2億円以内とする四者合意の目標を達成していますが、経費の削減によるところが大きく、今後は収入の確保に向けた施策が必要と考えています。佐々木新社長は観光事業に明るく、これまでのノウハウやネットワークを活用し、急務である観光路線としての需要拡大に尽力いただけるものと期待しています。

また秋田内陸線を活用した内陸地域の活性化に向け、秋田県・北秋田市と協議のもと、引き続き必要な支援を行っていきます。

◇仙北市消防訓練大会及び秋田県消防協会大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会の結果について

7月6日、落合運動公園駐車場を会場に仙北市消防訓練大会を開催し、各分団が消防技術の速さと正確さを競い合いました。

小型ポンプ操法の部では優勝「第4分団2班」、準優勝「第8分団2班」、第3位「第10分団2班」が、規律訓練の部では優勝「第9分団」、準優勝「第8分団」、第3位「第4分団」が、それぞれ入賞しました。さらに小型ポンプの部では4人の優秀隊員の個人表彰を行い、団員の士気高揚を図っています。

7月19日には仙北市消防団を代表し、入賞した分団が大仙市で開催された秋田県消防協会大仙・仙北・美郷支部消防訓練大会に出場しました。同大会では小型ポンプの部で「第4分団」が第3位、「第10分団」が6位入賞、また規律訓練の部でも「第4分団」が第3位と、各代表とも大健闘でした。

◇登山事故等の救助について

7月15日午後2時15分ごろ、乳頭山へ登山していた千葉県習志野市の女性（62歳）が、下山中に倒木を踏み越えようとしてつまずき転倒、左足を負傷し自力下山ができなくなった事案が発生しました。このため県防災ヘリ「なまはげ」の出動を要請し、その後無事救助されました。

◇「仙北市防災月間」について

「仙北市防災月間」の事業として、市民会館駐車場を会場に8月2日、初めての「防災の集い」を開催しました。

実施にあたっては、仙北警察署・湯沢河川国道事務所・陸上自衛隊（秋田駐屯地）、大曲仙北広域消防本部の協力をいただき、大変に充実した集いとすることができました。主な催しは防災車両の展示及び働きを説明した防災車両展示フェア、また広域消防署職員の指導による地震体験、放水体験、レスキュー体験、市民会館の避

難訓練、生保内小学校5年生の避難所宿泊体験などです。また市内で結成されている12の自主防災組織のうち、5つの組織が防災月間に併せ、今後防災訓練等を実施する予定となっています。

◇国際交流に関する連携プログラム協定締結について

7月1日、公立大学法人国際教養大学と「国際交流に関する連携プログラム協定」を締結しました。この協定は相互がもつ人的・物的資源を活用しながら相互交流を進め、異文化体験による国際理解を深めるとともに、仙北市の地域活性化・観光振興に資する事業を展開しながら、国際感覚を身につけた人材の育成を図ることを目的としています。

具体的な取り組みの事業として、現在のところ来年2月に開催されるフリースタールスキーワールドカップでの開催協力や、ユニバーサルツーリズム推進での協力を想定しています。

◇(株)司食品工業秋田工場の企業誘致進捗状況について

7月18日に(株)司食品工業の滝本博社長と設計会社の代表者が建設予定地に入り、工場配置図面案と現地実測での確認を行っています。その際、地域環境や新たな施設増(LNG施設・残渣処理施設)、気候条件(雪のため置きなど)を考慮すれば、現在の造成予定面積では足りないとの認識に至り、後日に用地の追加取得と市道拡幅について要望を受けています。会社側は造成工事を年内に完成できないと4月の建設着工は困難との見解です。これを受けて7月28日、庁内の関係職員が協議を行っています。現在、対応事業量の積算や手続き上の課題について精査を行っています。まとめ次第、議会に説明と予算計上をお願いしたいと考えています。

また、8月1日開催の産業建設常任委員会協議会に、同社の滝本社長が出席しましたが、委員会の皆様にはこのような機会を設定いただいたことに感謝を申し上げます。今後、同社の東北工場視察などにもご協力をお願いします。

◇カラ吹1号源泉の復活と今後の温泉対策について

6月定例会で予算を承認いただいた、カラ吹1号源泉の浚渫及びバルブ交換工事の状況について報告します。7月14日から作業に取りかかり、8月4日現在で浚渫及びバルブ交換工事はほぼ終了しています。この取り組みが功を奏し、減退していた蒸気の噴出が回復して噴出量が増えました。これで温泉の造成量を増やすことが可能となったほか、温度上昇にも対応できます。一安心といったところです。

しかしながら、温泉造成の主力となっているカラ吹2号源泉が年々その噴出量が下降線にあることから、1号源泉の復活だけで今後の温泉対策の手綱を緩める状況にはないと認識しています。

平成26年1月から、乳頭温泉地区の各温泉のモニタリング（2年間）を行っていて、現在7ヶ月が経過しました。逐次、各温泉事業者へ調査結果を報告しています。その際に耳にするのは、乳頭地区（カラ吹一帯）での新たな温泉掘削は同意しかねるとの言葉です。

このため、新たな源泉確保の対策として、水沢温泉を利用することと、乳頭温泉地区以外での温泉掘削の2つの手法が考えられますが、1つの手法とした水沢温泉の利用については、7月9日に水沢温泉の事業主である塚本総業株式会社の塚本清士郎社長と面談し、水沢源泉の田沢湖高原地区への活用について協力を要請しました。塚本社長からは、快く協力したい旨の返事をいただきました。今後、同社と協議を重ねたいと考えています。もう1つの手法の温泉井掘削ですが、高原地区近傍の国立公園内で有望と思われる候補地を選定したいとの思いを抱いています。その際には事前の温泉探査が必要です。

今後、2つの手法について、事業化の見込や採算性等を精査し、早い機会に方向性を出したいと考えています。

◇市立角館総合病院改築事業について

市立角館総合病院改築事業については、7月25日に外構工事・建築工事の入札を公告しました。外構工事の入札日は8月19日、

建築工事の入札日は9月1日です。入札結果については次回定例会で報告します。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げました。今臨時会で審議をお願いする案件は、補正予算2件です。

慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。